

研修名 保健看護研修 2

平成 27 年 12 月 21 日 (月) 13 : 30 ~ 16 : 00

講演 「食物アレルギーの基礎知識と緊急時対応」

講師 末廣 豊 氏



1) アレルギー疾患の増加

- ① 感染症の激変
- ② エピジェネティックな変化をもたらす
Chemicals の増加 (DNA やヒストンを、メチル化・アセチル化する)
- ③ アレルゲンの増加 (スギの植林)
- ④ 離乳食を遅らせる
- ⑤ メンタルストレスの増加
- ⑥ 湿疹の増加

2) 食物アレルギーとは

食物によって引き起こされる抗原特異的な免疫学的な機序を介して生体にとって不利益な症状が惹起される現象

3) 食物アレルギーのガイドライン

インターネットでダウンロードできる。

- ・食物アレルギー緊急時対応マニュアル (東京都)
- ・アナフィラキシーガイドライン等

4) 食物アレルギーの特徴

- ① 増えてきている
- ② 皮膚から感作がおこる
- ③ なおせる
食べ過ぎると症状がでる
食べないと治らなくなる
- ④ 全身の症状がでることがある



5) 食物アレルギーの診断

- ① 食べてみて症状がでるかどうか？
- ② 負荷テスト、除去テスト
- ③ 皮膚テスト
- ④ 血液検査
食物特異的 I gE 抗体

症状

即時型

食べて 2 時間以内
蕁麻疹

遅発型

食べて 2 時間以降
湿疹

6) 食物アレルギーでみられる症状

皮膚	かゆみ、赤み、じんま疹、腫れる
目	充血、浮腫、かゆみ、なみだ
鼻	くしゃみ、鼻水、鼻づまり
口、粘膜	違和感、腫れる、かゆみ、いがいが感
呼吸器	のどのしめつけ感、のどが腫れる、声がかすれる、咳 喘鳴、息が苦しい
消化器	腹痛、嘔吐、下痢
全身	ショック、血圧が下がる、ぐったり、ぼーっとする

7) 食物アレルギーと間違えやすい疾患

食中毒 細菌、自然毒などの有害なものが含まれる食品による
例) 夏、生卵を食べて発熱、下痢→卵に付着していたサルモネラ菌の混入による。

食物不帯症 体質的な消化不良

仮性アレルゲン 食物にふくまれる化学物質が原因
例) とろろ芋で口の周りが痒くなる。
→食品中のアセチルコリンが関与

8) アドレナリン自己注射使用にあたって前もってしておくこと

食物アレルギー対策委員会の設置（災害対策とおなじく日頃からの訓練を
することが重要なので設置すること）

アナフィラキシーを起こす可能性のある子どもをリストアップしておく
アレルゲン、搬送先

9) アドレナリン自己注射薬を打つ前に知っておくこと

現場では

食物アレルギーの症状か？
アレルゲンを含む食品を食べたか、どういう症状があるか？
アナフィラキシーか？エピペン筋注がひつようか

手順

寝かせる、押さえる
アドレナリン自己注射薬をとりだす、利き手でグー握り、
安全キャップを確実に抜く
打つ場所を特定（膝と股を3等分した真中、大腿の外側、
ポケットの内容確認）
大腿外側に垂直に5秒間押しつける（振り下ろさない）
ゆっくりと抜き、もんでおく
ストレッチャーにのせる。（打った後、起こさない。寝たままで）
救急車で搬送
救急診療所では真っ先に診てもらうこと
保育所で起きた時、何をすべきか、してはいけないことの共有が

感想

- ・他の研修会では体験してない、エピペン（本物）を使って実習。
段ボールではありましたが、針がでている長さ、薬液の出方、量等を確認でき有意義でした。
暴れる児への対応が重要であることを再認識しました。
- ・調布市のちぢみ事故発生の要因を検証した話、初期対応での3つの誤りで死亡事故がおきてしまった。
保育所で起きた時、何をすべきか、してはいけないことの共有が必要と実感しました。

（ 記録 大山崎町 山口幾世 ）